

2015年12月のモロッコの政治情勢等を、当地報道を中心に以下のとおりまとめました。
要人往来については末尾の一覧表をご覧ください。

なお、当政治月報は当月中にメディアで多く取り上げられた話題をその都度記録したもので、これらニュースについての当館及び日本政府の立場を何ら反映するものではありません。

【主な出来事】

- ◎ (4～5日) ヨハネスブルクで開催した中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)において、ベンキラン首相がモハメッド6世国王の演説を代読。
- ◎ (8～11日) ISILを信奉し、国内でプロパガンダやテロを企図する者の逮捕が相次いだ。
- ◎ (10日) 欧州司法裁判所はEU・モロッコ農業協定の停止判決を発出。

<内政・政局・治安>

1 ISILを賛辞する者の逮捕(マラケシュ近郊シディ・ズインヌ)

8日付報道によれば、同日、国家司法警察(BNPJ)はマラケシュ近郊シディ・ズインヌにおいてISILを賛辞するプロパガンダを行ったとして学生1名を逮捕した。逮捕された者は応用技術を学ぶ19歳の学生であり、ISILのプロパガンダのパンフレットを配布するとともに、ISILが行ったテロ行為を賛辞する落書きを行った疑いがもたれている。

2 ISIL支持者の逮捕(北東部ベルカンヌ市)

8日付報道によれば、同日、中央司法捜査局(BCIJ)はベルカンヌ市(モロッコ北東部、アルジェリア国境付近)において、ISILを支持し、活動していた危険分子を逮捕した。逮捕された男性1名は、ISILの首領に忠誠を誓っており、シリア・イラクを活動領域とするISIL幹部と連携し、モロッコ国内におけるテロ活動を計画していた。

3 ISIL支持者の逮捕(ウラッド・テイマ及びフェズ)

10日付報道によれば、同日、BCIJがアガディール近郊ウラッド・テイマ及びフェズにおいて2名のISIL支持者を逮捕した。逮捕された者はISILの破壊思想に傾倒し、プロパガンダ用のビデオを作成、その中で、モロッコ国内を標的としたテロ行

為を実行すると言って脅迫していることが明らかになっている。

4 国内でテロ活動を計画した9名の逮捕

11日付報道によれば、同日、BCIJはケニトラ、サレ、カスバタドゥラ（ベニ・メラル近郊）、ドゥワ・グラム・ララーム（同左）及びエイト・イスハック（ケニトラ県）で活動していた9名のテロリストを逮捕した。これらの逮捕者は、新年にタンジェ、フェズ、ベニ・メラル、ケニトラ及びナドールで連続テロを計画していた。また、逮捕者は、シリア・イラク乃至リビアにおいて行われているISILの活動に与しようとした疑いが持たれており、ISILから、銃火器や爆発物を用いてテロを行うため、モロッコ国内の複数の施設を特定するよう指示を受けていた。

5 ズリカ・ナスリ・モハメッド6世国王顧問（インフラ担当）死去

16日、ズリカ・ナスリ・モハメッド6世国王顧問（インフラ担当）が脳梗塞のため死去した。享年70歳。同顧問は財務省保険局長、社会問題大臣付国家相互扶助担当特命大臣や王宮事務局での閣僚級要職を経て、女性として初めて選出された国王顧問であった。

<外交・国際関係>

6 モハメッド6世国王のア首連訪問

(1) 2日から、モハメッド6世国王はア首連を友好実務訪問し、ア首連建国44周年記念行事やアブダビにおけるモロッコ週間に参加した。

(2) モハメッド6世国王の今次ア首連訪問には、ムーレイ・ラシッド王子、アハヌッシュ農業・海洋漁業大臣、ルアルディ保健大臣、ハッダド観光大臣、スビヒ文化大臣、マルアーン手工芸・社会連帯経済大臣等が同行した。

7 モハメッド6世国王の中国・アフリカ協力フォーラム演説（ベンキラン首相による代読）

(1) 4-5日、ヨハネスブルクで開催中の中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）において、ベンキラン首相がモハメッド6世国王の演説を代読した。モハメッド6世国王は同演説で、アフリカ開発及びアフリカ各国に対する模範的な連帯にかかる中国の貢献を評価した上で、開催国である南アのマンデラ元大統領とハッサン2世前国王との親密な関係について述べた。

(2) また、モハメッド6世国王は人間開発及び雇用の確保の重要性を挙げた上で、経済発展には治安、安定、主権及び領土の統一性の尊重が重要となる旨述べた。特に治安については、テロの脅威が益々広がり、社会のリスクとなっていることから、共通の動員、相互の協力及び緊密な努力の集中が重要である旨述べた。

8 欧州司法裁判所によるEU・モロッコ農業協定の停止判決

(1) 報道によれば、10日、欧州司法裁判所はポリサリオによる提訴を受け、モロッコ・EU農業協定の停止判決を発表した。同協定は、モロッコからの特定の農水産品の製品が欧州市場へ割当て及び数量制限なしにアクセスを許可するもの。

(2) これを受け、14日、EU加盟国28か国の外務大臣は、同年12月10日の欧州司法裁判所の決定の停止に対する提訴を決定すると同時に、協定停止の延期要請を提出した。

9 スキラットにおけるリビア政治合意署名

17日、ラバト近郊スキラットで、国連仲介のリビア政治合意の署名式が開催され、リビア代表議会及び制憲議会の議員等政治対話関係者が政治合意文書に署名した。

<モロッコ要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
-12月2日	フランス	モハメッド6世国王, ムーレイ・ラシッド王子	COP21出席
12月2日-	ア首連	モハメッド6世国王, ムーレイ・ラシッド王子, アハヌッシュ農業・海洋漁業大臣, ルアルディ保健大臣, ハッダド観光大臣, スビヒ文化大臣, マルアーン手工芸・社会連帯経済大臣	友好実務訪問(ア首連建国44周年記念行事, ア首連におけるモロッコ文化週間出席)
12月2-5日	南ア	ベンキラン首相, メズアール外務・協力大臣	中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)出席
12月3日	フランス	ハサッド内務大臣	カズヌーブ内務大臣との会談
12月3日	ポルトガル	ブーアイダ外務・協力大臣付特命大臣	リスボン・フォーラム出席
12月6日	フランス	メズアール外務・協力大臣	COP21出席, マルティネス・エルサルバドル外務大臣との会談
12月8日	オマーン	ブーアイダ外務・協力大臣付特命大臣	第3回モロッコ・オマーン政策協議出席
12月10日	イタリア	アマラ・エネルギー・鉱山・水利・環境大臣, ブーアイダ外務・協力大臣付特命大臣	地中海対話会合出席
12月10日	アルゼンチン	ラシッド・タルビ・アラミ衆議院議長	マクリ大統領就任式典出席
12月12日	モーリタニア	メズアール外務・協力大臣, ブシャイブ・アルーブ王国軍総監兼南部方面司令官, マンスールDGED総局長	アブデルアジズ大統領との会談

12月13日	イタリア	メズアール外務・協力大臣	モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表との会談
12月14日	ベルギー	メズアール外務・協力大臣	第13回EU・モロッコ連合理事会出席
12月14日	ギニア	ベンシュマシュ参議院議長	コンデ大統領就任式典出席
12月20日	米国	ララ・ハスナ王女	故モハメッド5世国王への「マーティン・ルーサー・キングJr＝ラビン・アブラハム・ジョシュア・ヘッセル」自由賞授与式出席
12月29日	ブルキナファソ	ベンキラン首相	カボレ大統領就任式典出席
12月31日-	中国（香港）	モハメッド6世国王	私的滞在

<外国要人のモロッコ訪問>

日付	国	名・肩書き等	目的
12月2日	イタリア	ダニロ・エリコ陸軍参謀長	ブシャイブ・アルーブ王国軍総監兼南部方面司令官との会談
12月9-11日	米国	ブライアン・マッキーオン政策担当筆頭副次官	ブーアイダ外務・協力大臣付特命大臣との会談、ルドリ首相付国防管理担当特命大臣との会談
12月11日	サウジアラビア	ムハメド・ベン・アブダラ・アル＝アーイシュ国防副大臣	ルドリ首相付国防管理担当特命大臣との会談、ブシャイブ・アルーブ王国軍総監兼南部方面司令官との会談
12月21日	タイ	チンワンノ外務次官	第2回モロッコ・タイ政務協議出席
12月21日	イスラム開発機構	イヤド・アミン・マダニ事務局長	メズアール外務・協力大臣及びブーアイダ外務・協力大臣付特命大臣との会談
12月29日	カタール	ハマド・ビン・アリ・アル＝アティーヤ国防大臣	ハッサド内務大臣、ブシャイブ・アルーブ王国軍総監兼南部方面司令官、ルディ国防担当大臣、ハムーシDGST総局長との会談
12月30日	フランス	ティエリ・ブライヤールスポーツ担当大臣	セクーリ青年・スポーツ大臣との会談

(了)